

Amazon Web Services + Arcserveシリーズで行う データ保護と災害対策

Arcserve Japan

Rev.1.5

arcserve®
assured recovery™

目的と活用ソリューション

バックアップデータの2次保管

ソリューション①
重要データファイルをクラウドに保管

ソリューション②
バックアップデータをクラウドに長期保管

業務継続・ 災害対策

ソリューション③
クラウドに待機サーバを置いて業務継続

ソリューション④
バックアップデータをクラウドにオフサイト保管

EC2仮想マシン のデータ保護

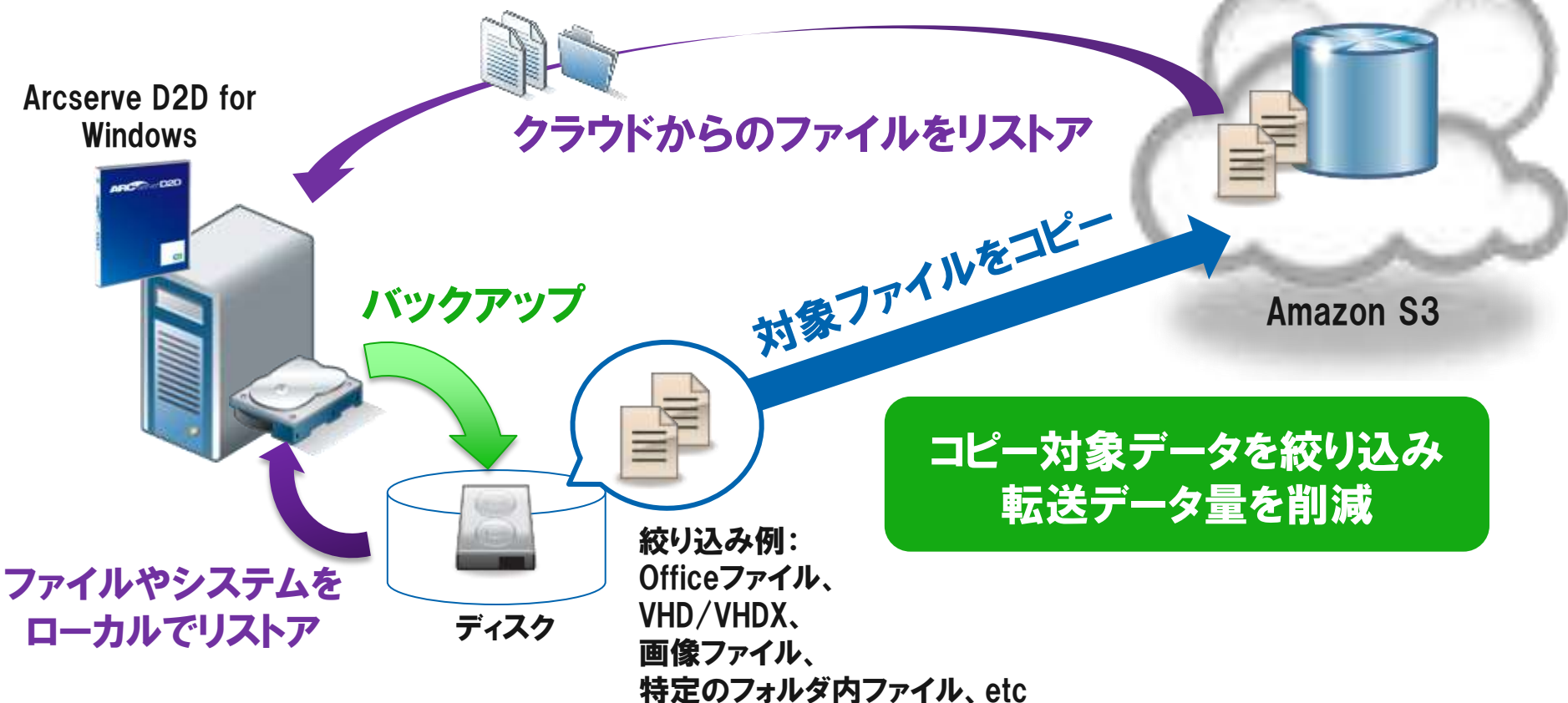
ソリューション⑤
仮想マシン上のデータを保護

ソリューション① 重要データファイルをクラウドに保管

こんなニーズに
応えます！

- 重要なファイルの消失だけは災害時でも避けたい
- クラウド関連費用を極力押さえたい

災害時にはS3のバック
アップデータから復旧



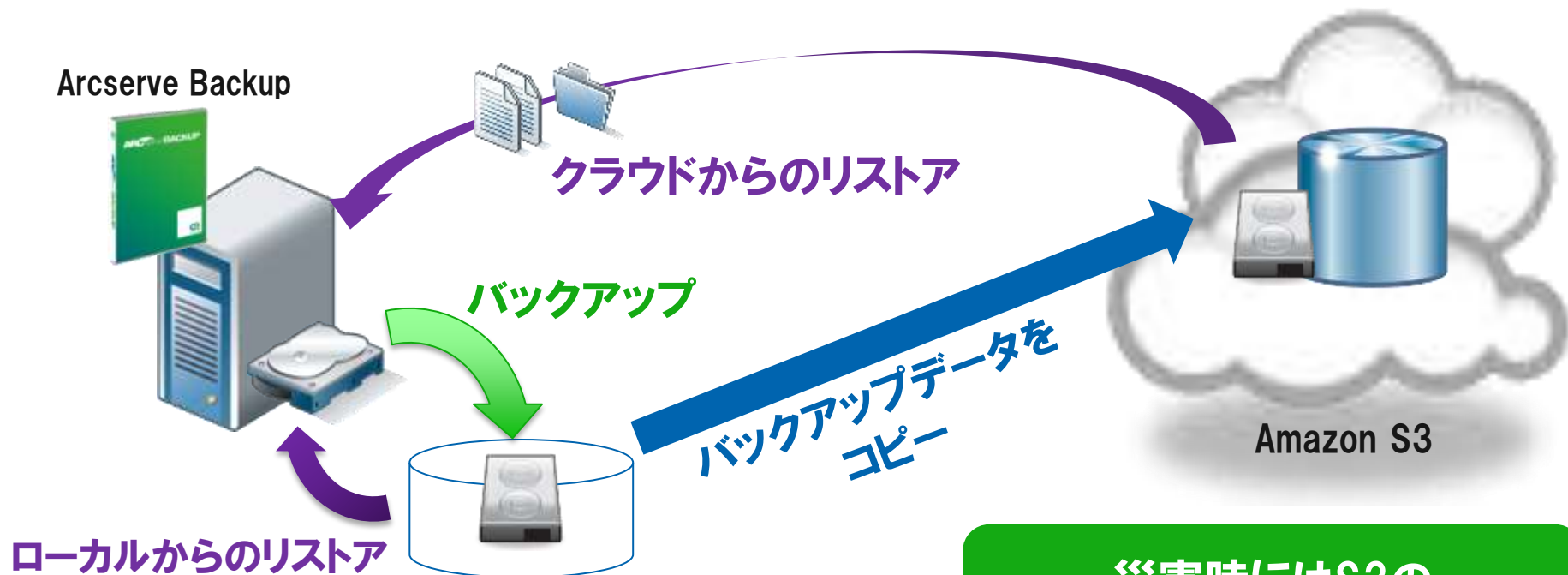
ソリューション②

バックアップ データをクラウドに長期保管

こんなニーズに
応えます！

→従来の運用を大きく変えずに災害対策を強化したい

→バックアップデータを長期間、安全に保管しておきたい



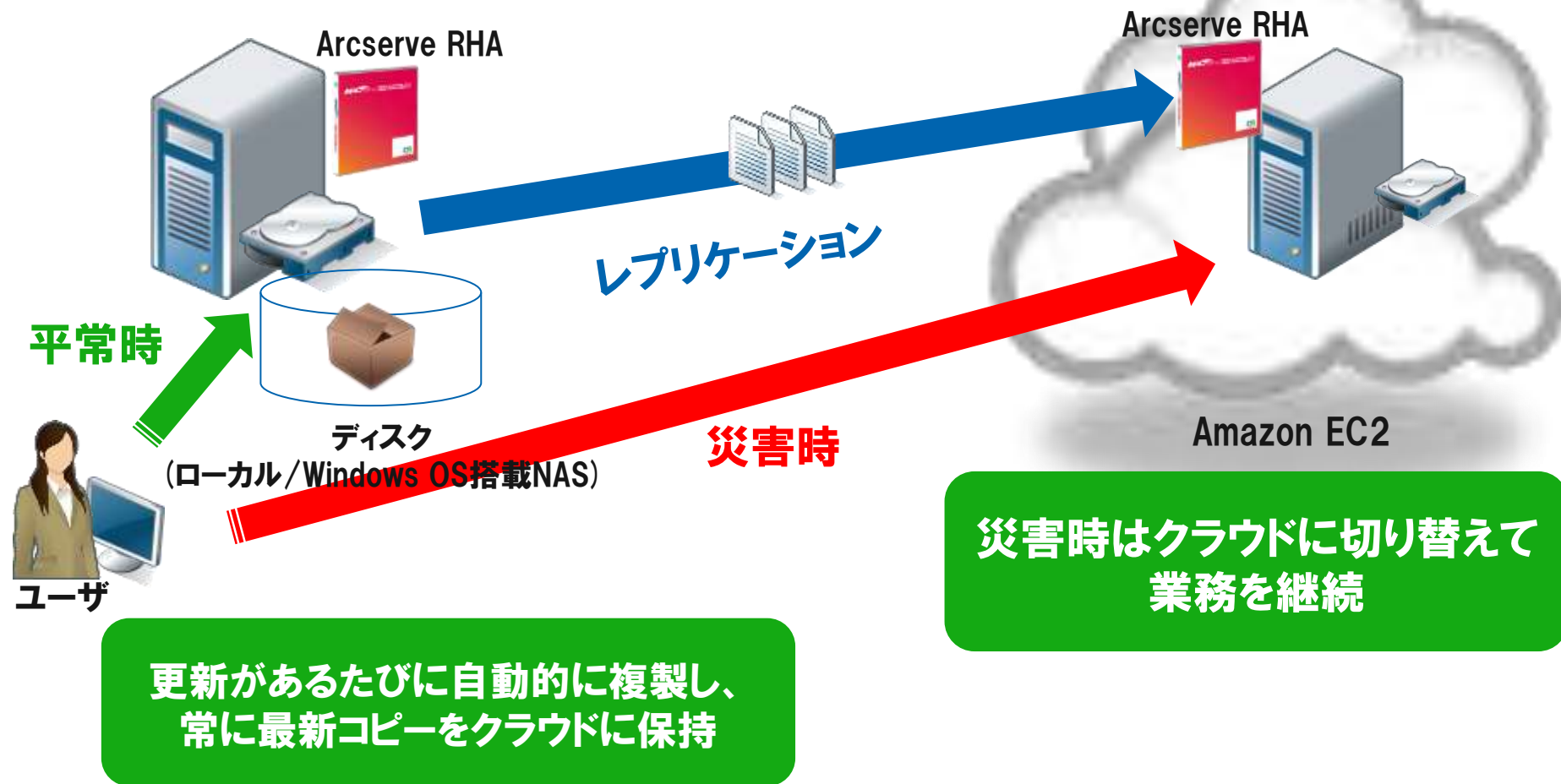
ローカルバックアップから迅速に
ファイル・システムを復旧

災害時にはS3の
バックアップデータから復旧

ソリューション③ クラウドに待機サーバを置いて業務継続を実現

こんなニーズに
応えます！

- 遠隔拠点は無いが、業務継続のための環境を整備したい
- 工数・費用を抑えた災害対策を実現したい



ソリューション④

バックアップデータをクラウドにオフサイト保管

こんなニーズに
応えます！

- システム全体のバックアップデータを遠隔地保管したい
- WANには極力少量のデータだけを流し、負荷を抑えたい



ローカルでリストア
ディスク
(ローカル/Windows OS搭載NAS)

ローカルバックアップから迅速に
ファイル・システムを復旧

本番システム損失してもバックアップデータをリストアし、システム全体を復旧

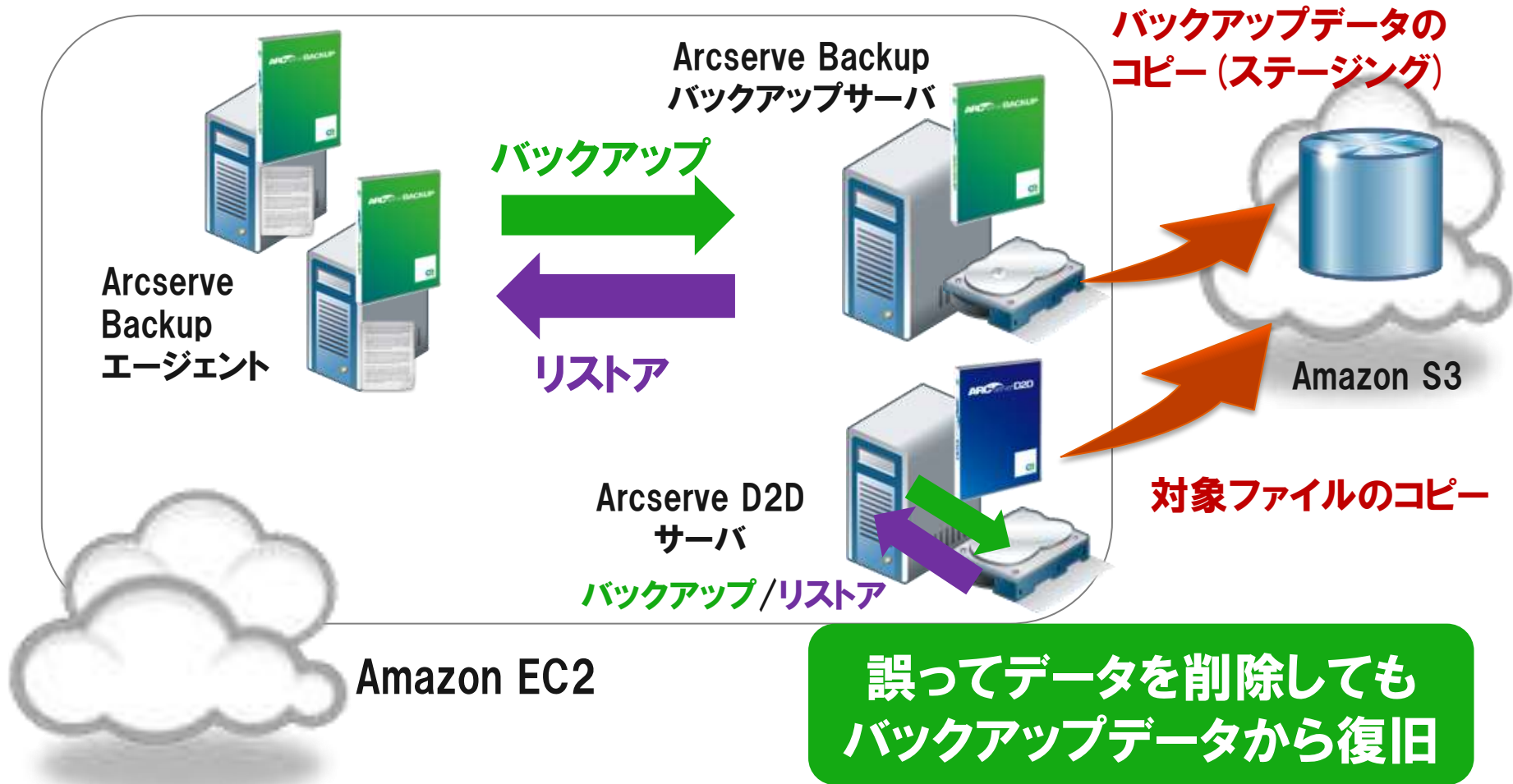
ソリューション⑤

Amazon EC2仮想マシン上のデータを保護

こんなニーズに
応えます！

→ Amazon EC2上の仮想マシン内のデータを保護したい

→ 仮想マシンの障害時にもデータが復旧できるようにしたい



Amazon EC2 仮想マシンOSでサポートされる製品

• Arcserve Backup r16.5

[本体 (Base) / オプション]

- Arcserve Backup for Windows
- Central Management Option

[ファイルシステム/データベース エージェント]

- Client Agent for Windows ※
- Client Agent for Linux ※
- Open File Agent for Windows ※
- Agent for Microsoft SQL Server
- Windows Agent for Oracle

※ Agent for Virtual Machines ライセンス
に含まれています

• Arcserve Replication r16/r16.5 for Windows

• Arcserve D2D r16.5 for Windows/Linux

動作要件または制限事項などの詳細については以下、サポート情報を参照ください。

サポート情報 : <http://www.casupport.jp/resources/index.htm>

Arcserve 製品シリーズのご紹介

arcserve®
assured recovery™

Q: バックアップソフトは何がオススメ?

A: あらゆる用途に応えるArcserve シリーズがお勧めです

Arcserve D2D

超簡単イメージ
バックアップソフト

継続的増分
バックアップ

システム
保護

PCの
保護

データ保護の
大黒柱 頼れるバックアップ

Arcserve Backup

システム
保護

重複
排除

データの
長期保存

オンライン
バックアップ

統合
バックアップ

リアルタイム
バックアップ

サービス
継続

遠隔
バックアップ

簡単・低価格 レプリケーションの
デファクトスタンダード

Arcserve Replication / High Availability

シンプル

多機能

レプリケーションとバックアップの違い

レプリケーション

Arcserve
Replication /
High Availability

バックアップ

Arcserve Backup
Arcserve D2D

システムの復旧

遠隔データ保護
(災害対策)

業務継続性

世代管理

データの長期保管

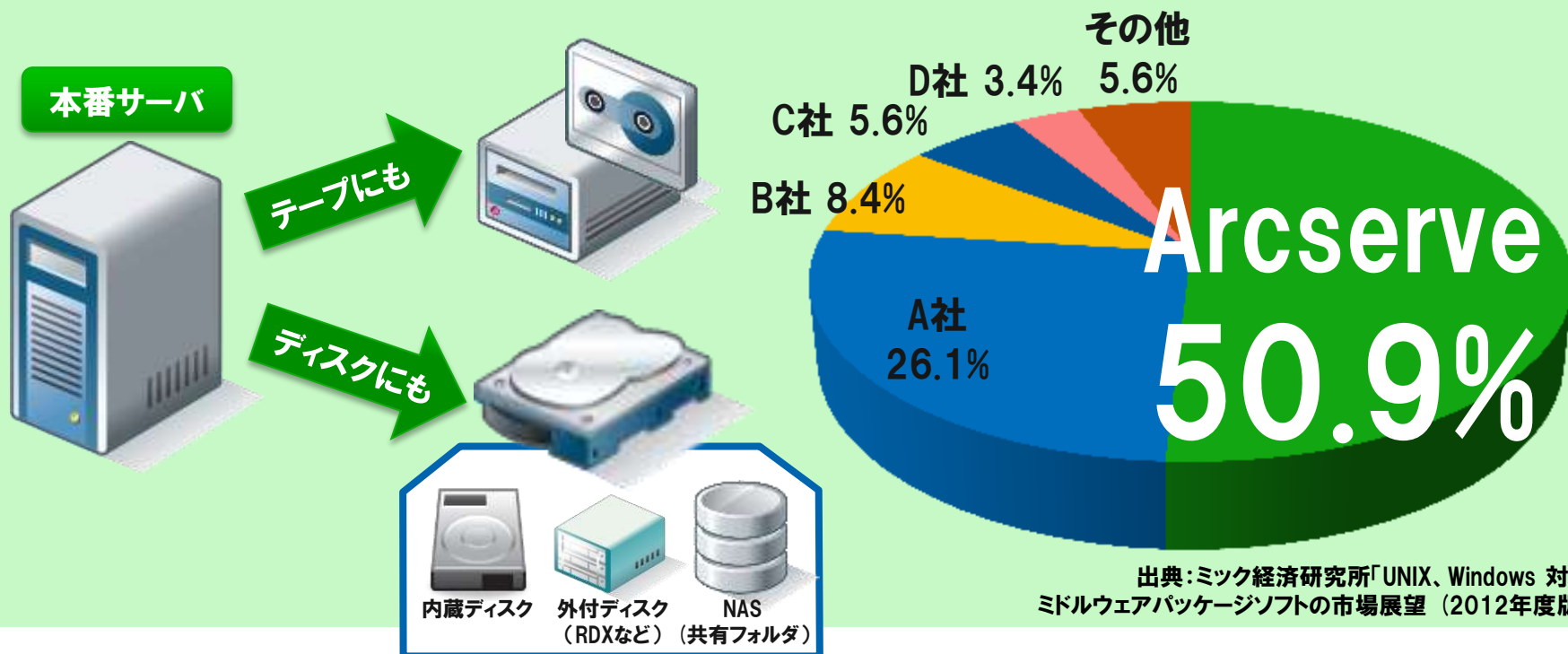
データ鮮度

Arcserve Backup の ご紹介

arcserve®
assured recovery™

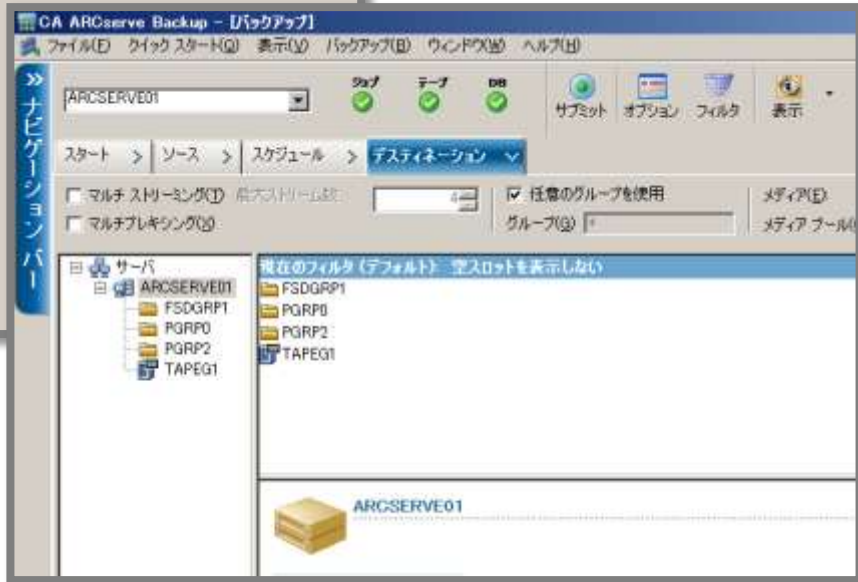
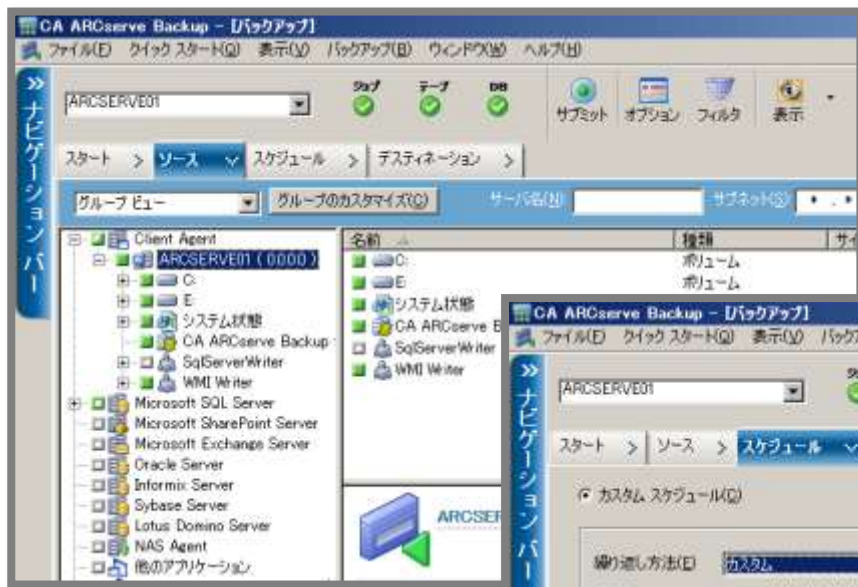
バックアップソフトの定番：Arcserve Backup

Arcserve Backupはシステムのもつ情報(データ)をテープやディスクなどにバックアップを取り、必要な際はリストアできるようにするデータ保護ソフトウェア。Windowsサーバのバックアップソフトウェアでトップシェアの製品です。



出典:ミック経済研究所「UNIX、Windows 対応ミドルウェアパッケージソフトの市場展望 (2012年度版)」

バックアップジョブの作成は3ステップで完了



ウィザードタブ形式の設定画面で、漏れなく簡単にジョブが作れます。

Arcserve Backupは集中管理機能が充実



毎週・毎朝のバックアップ
結果の確認が簡単に
行えます

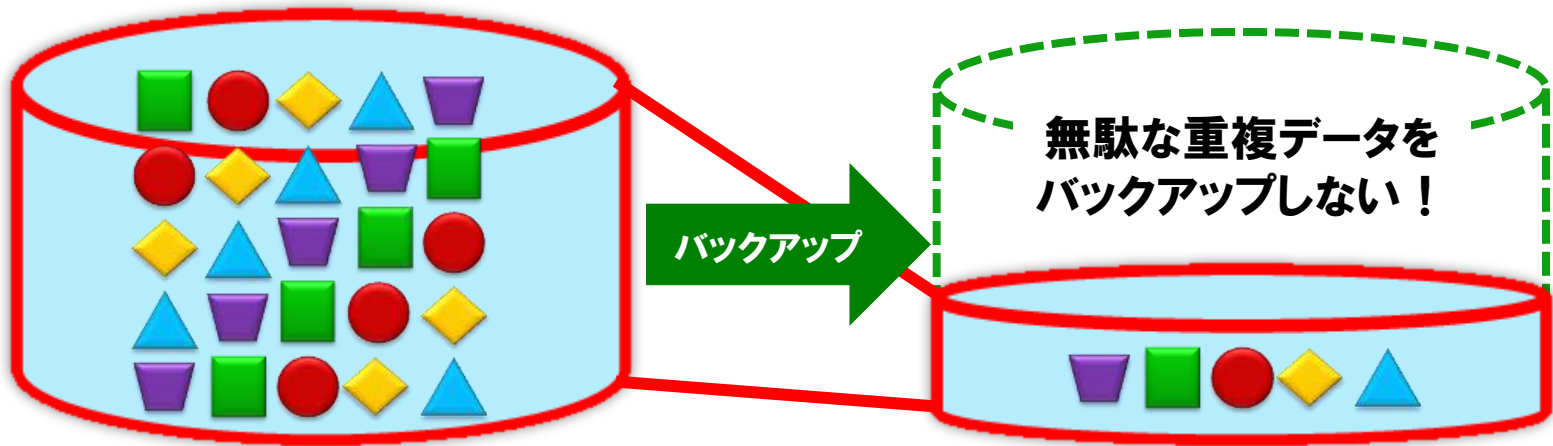
詳細は各サーバをクリック



デデュプ(重複排除)機能で効率よくバックアップ！

バックアップ対象データ
100%

バックアップ対象データ
平均93%圧縮に成功！



① ディスクを節約

バックアップ用ストレージの
購入費用を抑えます

② 設定が簡単！

バックアップ先のデバイスは
1つでOK！ローテーションを
考える必要はありません。

③ しかも無料！

オプションの購入不要。
標準機能で使えます。

効果事例はWebで！

デデュプ特集

検索

Arcserve D2D の ご紹介

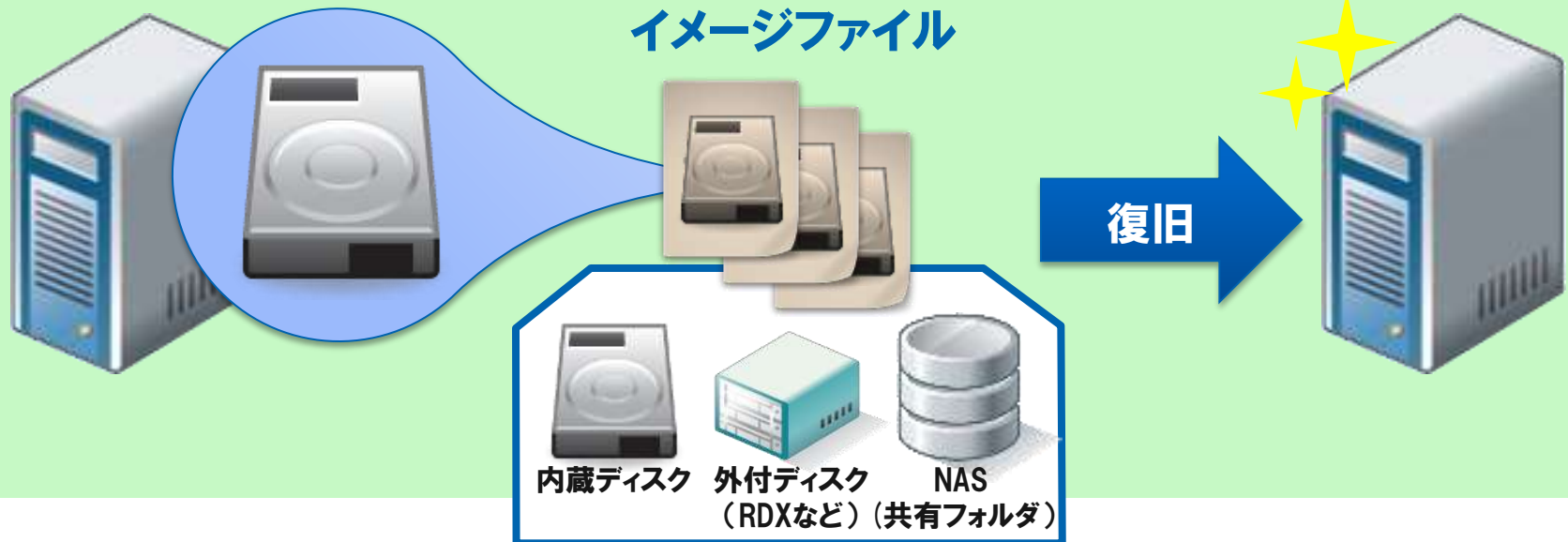
arcserve®
assured recovery™

超簡単イメージバックアップ: Arcserve D2D

イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体やCDドライブから丸ごとバックアップを行い、イメージファイルとして保存するデータ保護手段。OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を簡単に復旧できます

本番サーバ



「簡単に」「手間をかけず」「低価格」 で使える！

1、圧倒的で驚くほどの簡単さ！

インストールしたらすぐ利用できる！細かな設定は不要！

2、運用に手間をかけない

継続的増分バックアップで、一度設定したら後は製品にお任せ

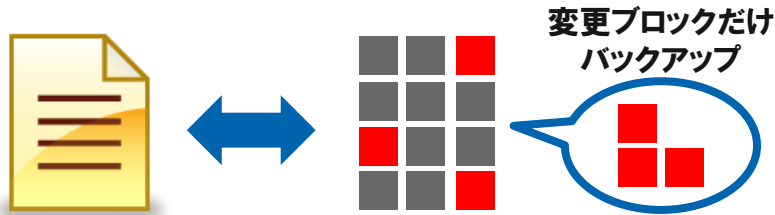
3、高いコストパフォーマンス！

個別のファイルリストアからベアメタル復旧までできて¥80,000～

Arcserve D2D 主な機能

ブロックレベルのバックアップ

ファイルに更新があっても、ファイル全体ではなく、ディスク上の変更ブロックだけをバックアップするので、バックアップ容量が小さい！



ディスク ベースのバックアップ

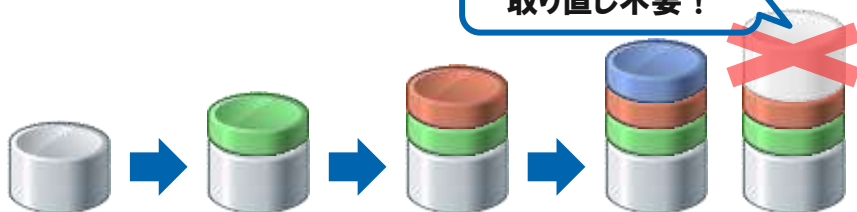
ディスクからディスクへ、Disk 2 (to) Diskの高速バックアップ



継続的な増分バックアップ

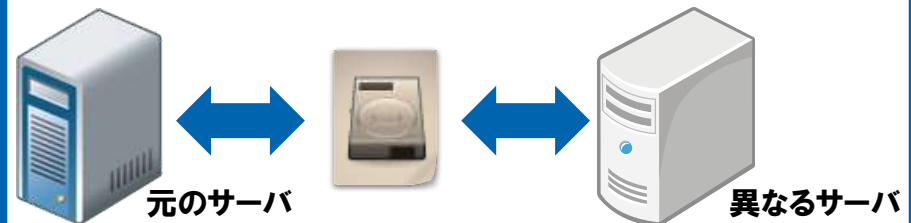
初回のフル バックアップ以降は増分バックアップだけを繰り返す運用によって、バックアップ先のディスク使用量を節約！

フルバックアップの
取り直し不要！



ベアメタル復旧

元のサーバだけではなく、異なるサーバへも標準機能で復旧できる！
物理から仮想への復旧(P2V)にも対応

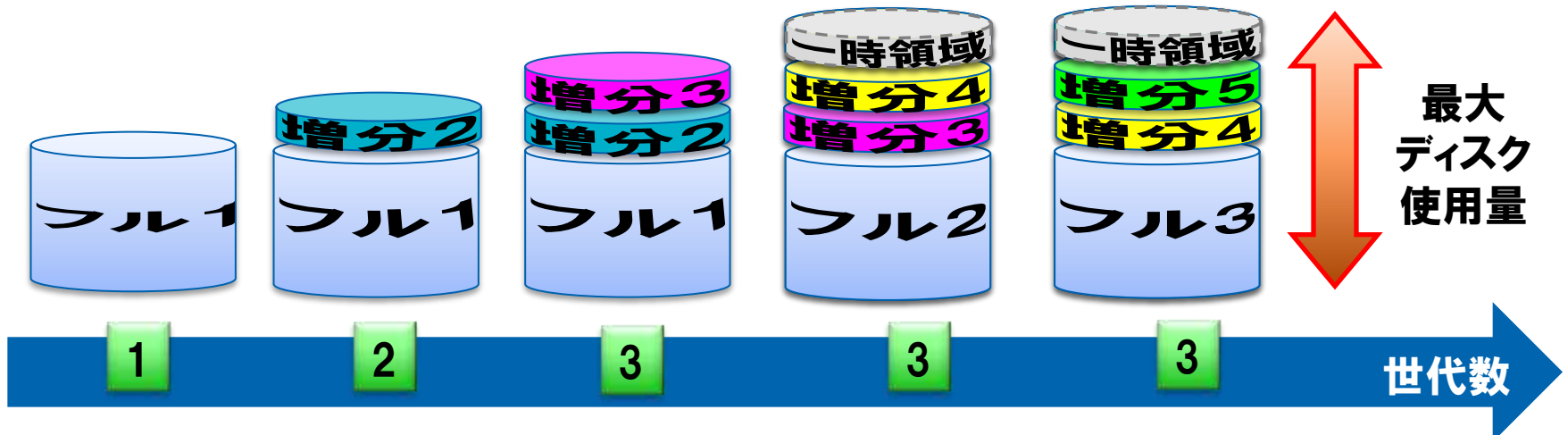


12 テクノロジー：継続的な増分バックアップ

バックアップデータの自動メンテナンス機能

- フル バックアップは初回のみでOK！
- バックアップの世代数が設定された数^(※)を超えた場合、最も古い増分データとフル バックアップを合成させ、フル バックアップの世代を更新
- ディスクがいっぱいになってしまう不安から解放！

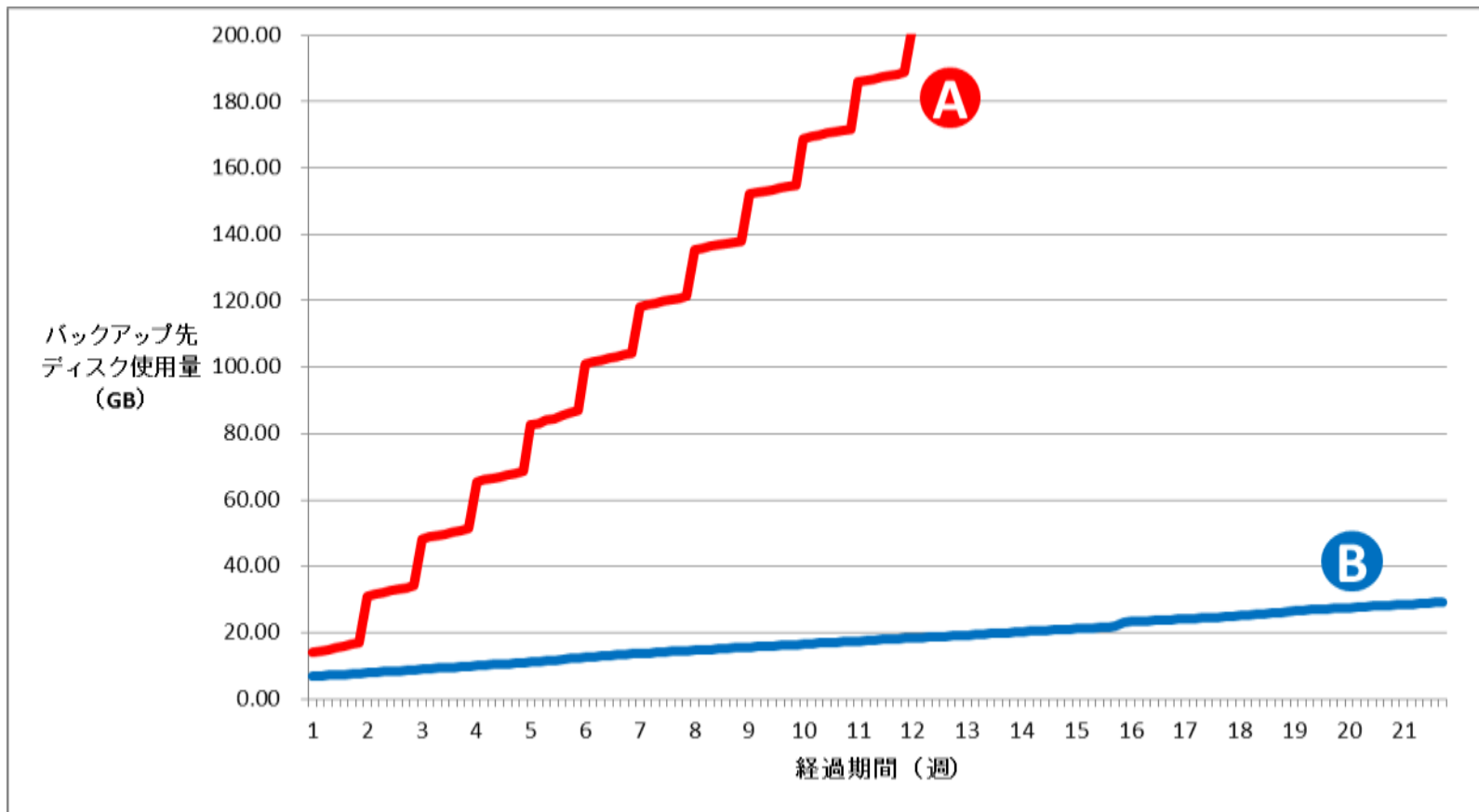
バックアップを3世代保存する場合



※初期設定では31個を保持(最大1344個まで設定可)

Arcserve D2Dはディスク消費が少ない

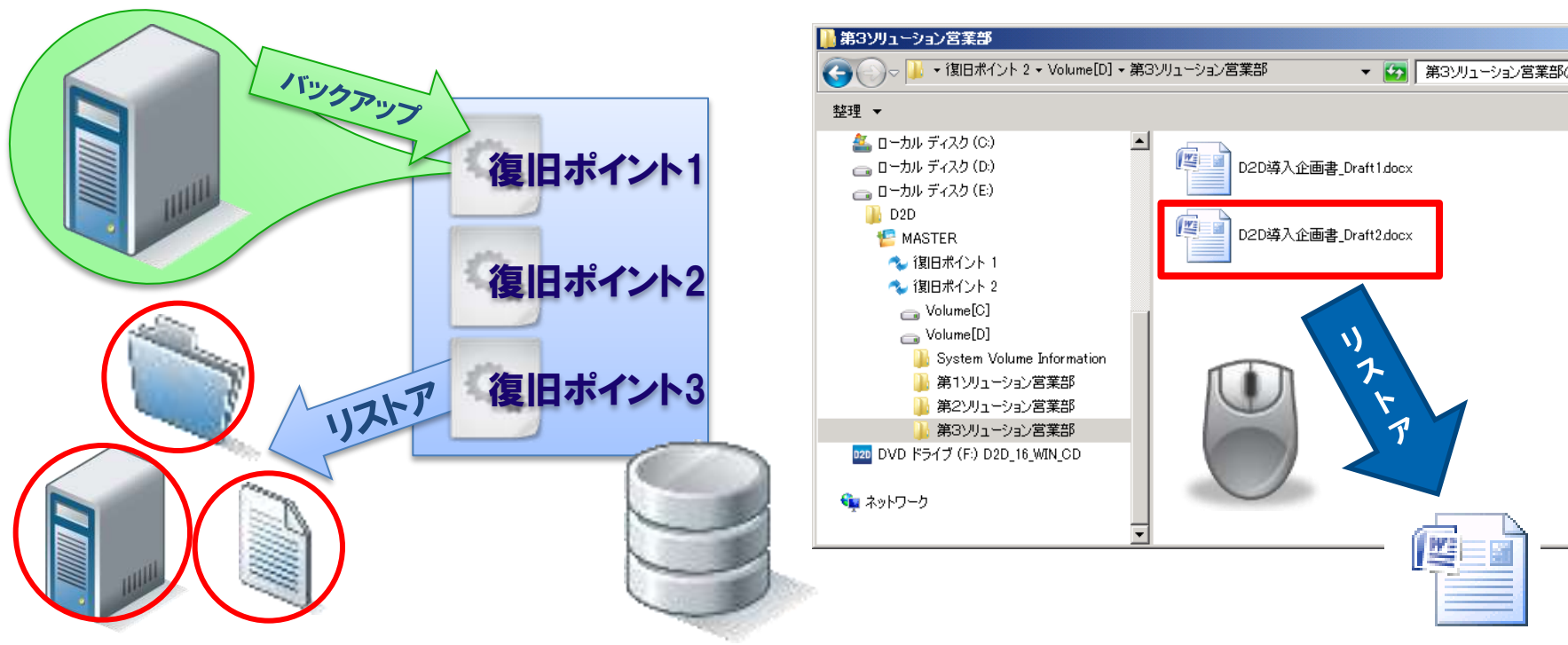
一般的なイメージバックアップ製品(A)と比べて、Arcserve D2D (B)は定期的なフル バックアップがいらないので、バックアップ先のディスクを節約できます。



標準機能:ファイル単位のリストアが可能

Q: イメージバックアップだとシステム全体しか戻せないの？

A: Arcserve D2Dではシステム全体もファイル個別にもリストアが可能です。使い慣れたエクスプローラからドラッグアンドドロップで簡単にリストアすることもできます。

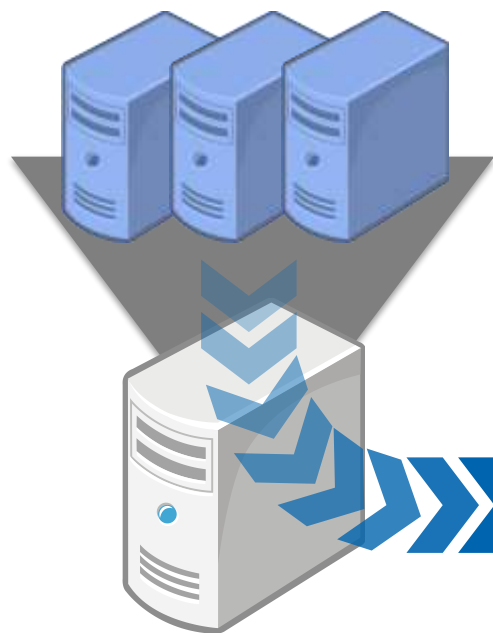


VMware専用製品: Host-Based VM Backup

VMwareのバックアップをエージェントレスで実行

効果

- バックアップ中のVMware vSphereの負荷を軽減
- ゲストOSのバックアップがより簡単・高速に！



VMware vSphere 4.0以上

仮想保護の3大要件を同時に実現

- エージェントレス
- 仮想マシン単位・ファイル単位での復旧
- 増分バックアップ運用



Host-Based VM Backup

バックアップ



Arcserve Replication/ High Availability のご紹介

arcserve®
assured recovery™

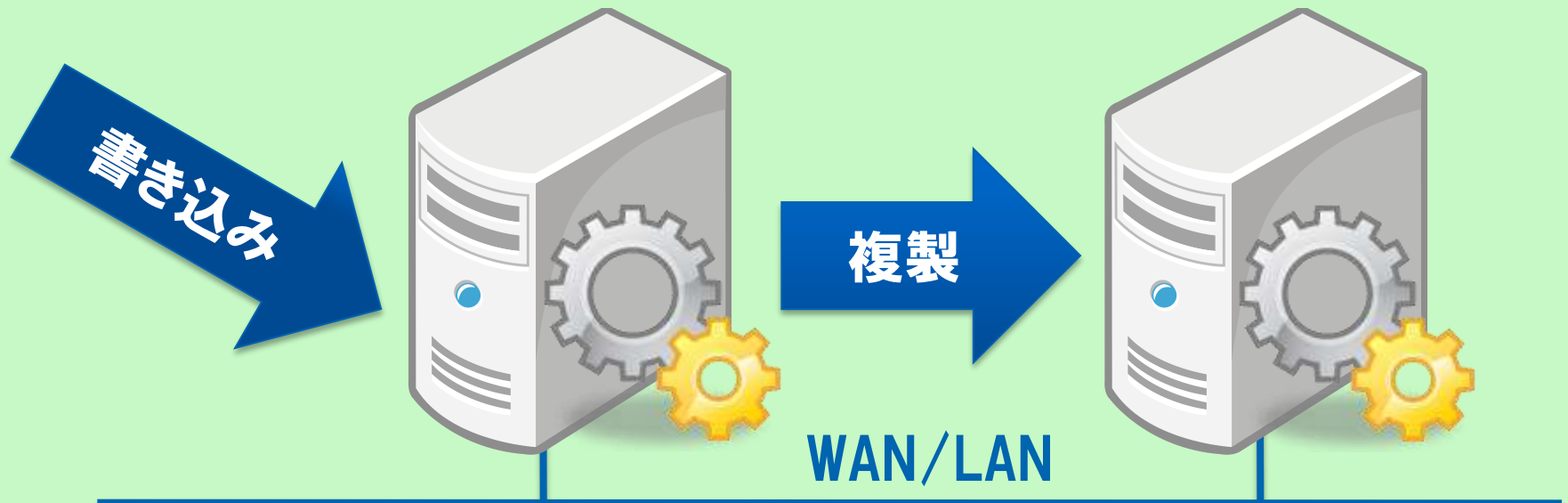
レプリケーション、ここがすごい！

レプリケーションとは？

Arcserve Replicationのエンジンがリアルタイムにデータを複製。
いざという時には複製先サーバで運用を続ける事ができます。

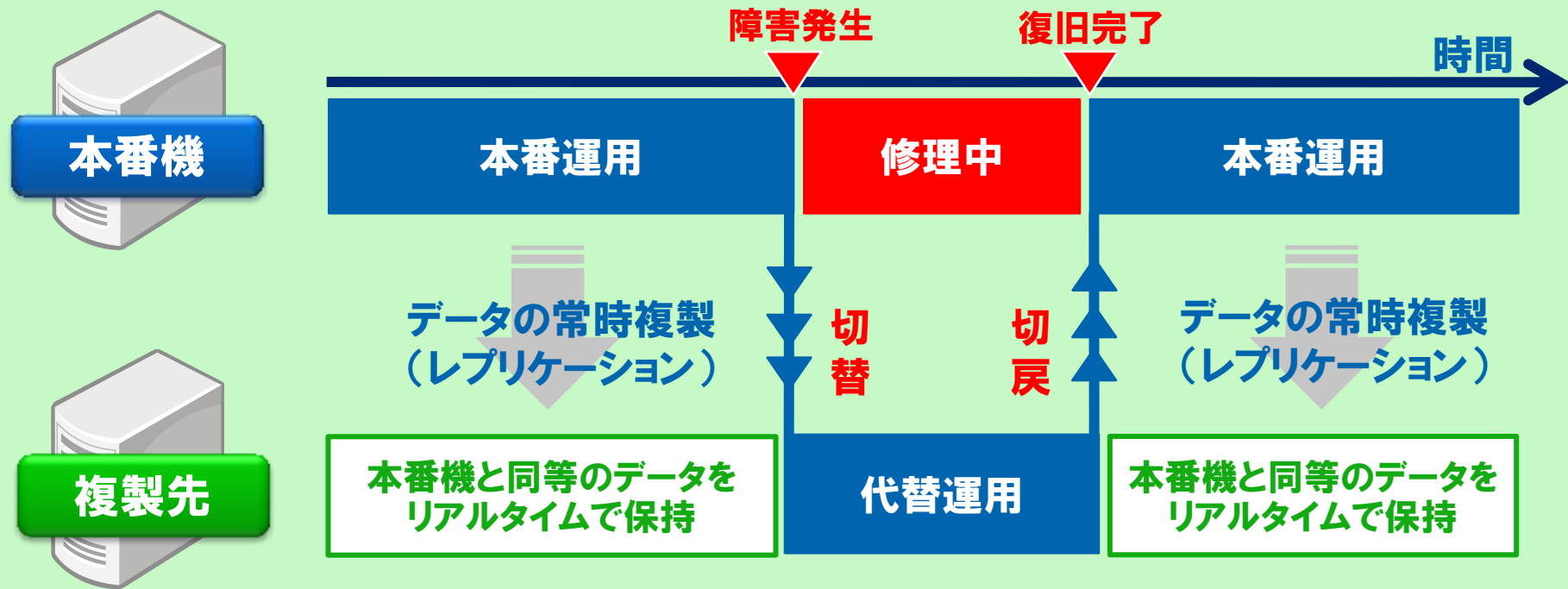
本番サーバ

複製先サーバ



業務継続ならArcserve Replicationが最適

万が一、ファイルサーバに障害が起きても大丈夫です。
ユーザは複製サーバのファイルを使って仕事を続けられます。

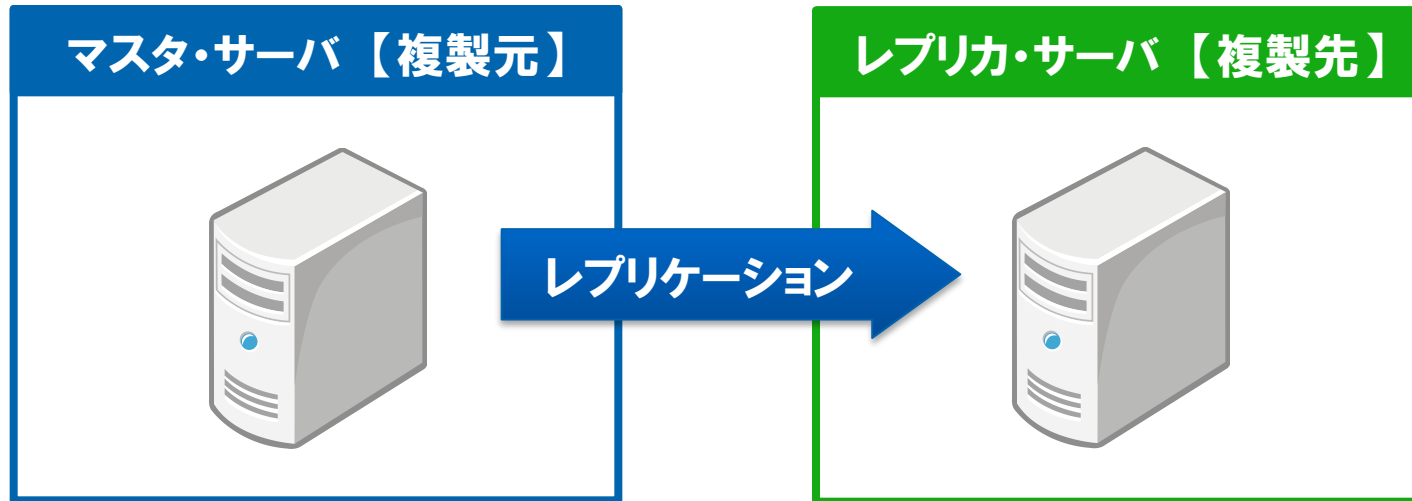


Arcserve Replication

こんなニーズに
応えます！

- 障害直前の状態にデータを戻して、ユーザの手戻りを減らしたい。
- 災害復旧対策の運用コストを小さくしたい。

リアルタイムでデータを複製するから、障害直前までのデータを保護出来ます



【導入が簡単】
再起動不要インストール
リモートインストール

【運用が簡単】
ビジュアルな管理画面
ウィザード形式の設定

【報告が簡単】
アセスメントレポート
多彩な運用レポート

28 対応環境:

Windows

MS SQL

Exchange Server

Oracle DB

IIS Server

vCenter

Hyper-V

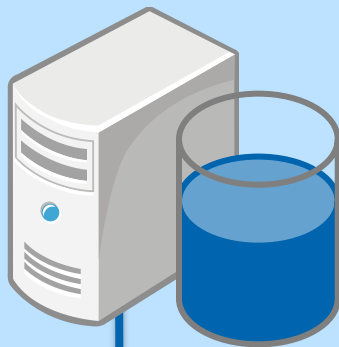
回線障害が起こっても自動的に再開

【障害中】

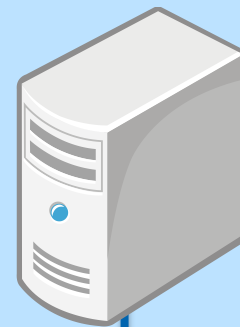
スプールディレクトリに変更を蓄積

書き込み

マスタ サーバ



レプリカ サーバ

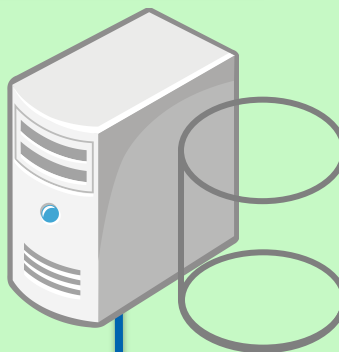


【回線復旧後】

蓄積していた変更をレプリカに反映

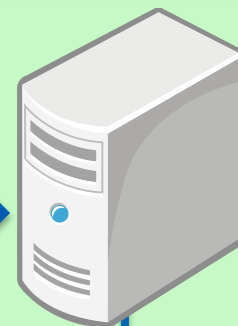
書き込み

マスタ サーバ



レプリケーション

レプリカ サーバ

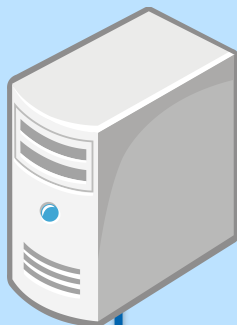


帯域制御機能を使って既存回線でレプリケーション

平日： 9:00～18:00
レプリケーションの帯域使
用量を1Mbpsに制限

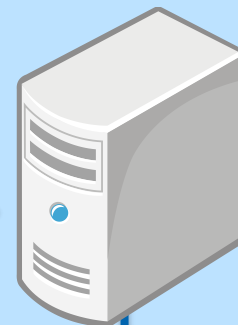


本番 サーバ

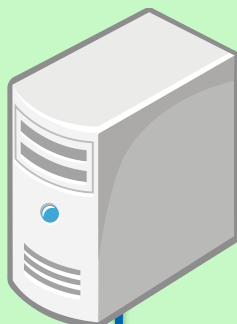


レプリケーション

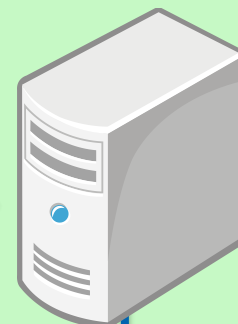
複製先 サーバ



18:00～ および 土・日
レプリケーションの帯域使
用量は無制限



レプリケーション

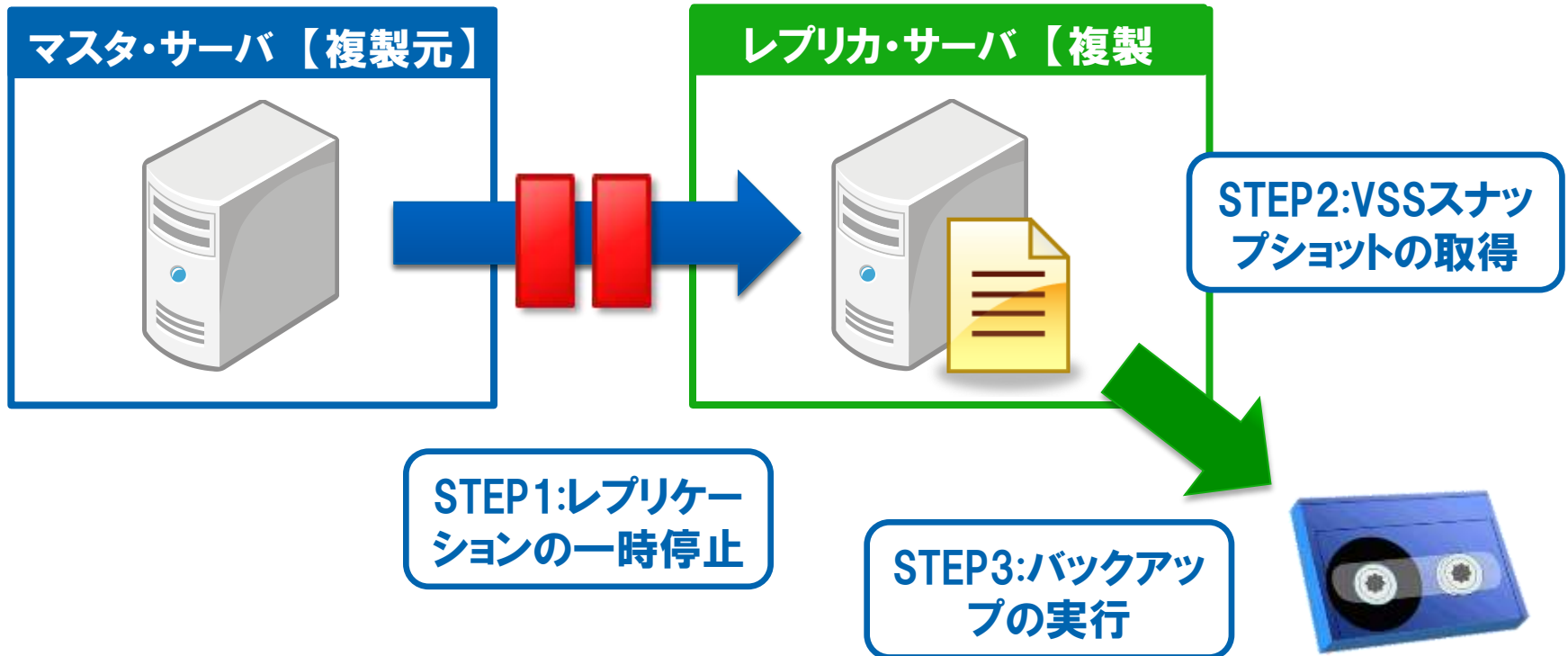


Arcserve Backup との連携機能

こんな時に
使えます！

- 災害対策拠点へのテープ転送の手間を省きたい。
- バックアップウィンドウを気にせずバックアップが取りたい。

スクリプト不要で『レプリカサーバのバックアップ』を実行



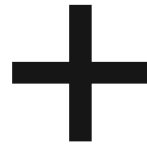
対応環境: Windows MS SQL Server Exchange Server

Arcserve r16.5 シリーズ

Windows Server 2012の保護は Arcserve r16.5 シリーズにお任せ！



Arcserve r16.5 シリーズ



Windows Server 2012

Windows Server 2012の新機能をサポート

ReFS

NTFS重複除去

論理4Kセクタ

記憶域スペース

Hyper-V 3.0

<参考>失敗しないクラウドを利用したバックアップ

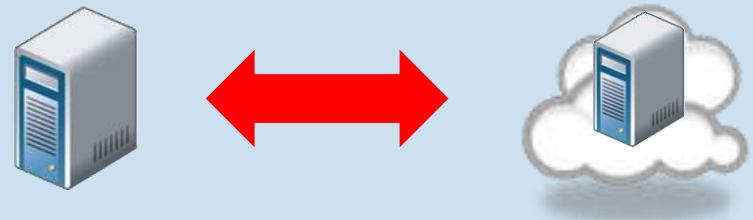
クラウドに二次バックアップ

Arcserve Backup/D2D
+ Amazon S3



クラウドで業務継続

Arcserve Replication
+ Amazon EC2



復旧までしばらく待てる

すぐに使いたい

まずは既存の資産を活かした二次バックアップを検討
すぐに業務の再開が必要な場合はレプリケーション

お客様事例、続々公開中



詳しくはWebで!

Arcserve 導入事例

検索

セルフトレーニングのご案内

Arcserve シリーズ 全製品が勢ぞろい！

製品の起動から、バックアップ設定、バックアップ、リストア、そしてベアメタル復旧やVM丸ごとの復旧を「いつでも好きな時間に」お試し頂けます。



Arcserve Backup



Arcserve Replication/HA



Arcserve D2D

閲覧はこちら！

Arcserve オンラインデモ

検索



カタログセンター（カタログ、技術資料）

<http://www.arcserve.com/jp/products/catalog-center.aspx>

Arcserve カタログセンター

検索



Arcserveジャパン・ダイレクト（購入前のお問い合わせ）

例:「この構成で必要なライセンスを教えてください」、「Arcserve D2DはXXXに対応していますか?」、「XXXはサポートされますか?」



フリーダイヤル: 0120-702-600

（平日 9:00～17:30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）

Webフォーム:

<http://www.arcserve.com/jp/lpg/customer-care.aspx>